

## 海員春闘 [対話集会] 鹿児島支部 鹿児島地区対話集会

海員春闘のほか、現在のペルシャ湾の船員を心配する多くの声が寄せられる

3月17日、鹿児島支部で地区対話集会を開催し、全国委員を含む組合員32人が出席、今次労働協約改定交渉に対する期待の声が寄せられた。

はじめに二神健太鹿児島支部長から「中東情勢の混迷による原油価格の高騰など、昨今の物価高に加え、生活を脅かす不安材料が増え、個人消費も低迷し、景気回復を阻んでいる。このような厳しい生活環境から脱するためにも、大幅な賃金改善は必要不可欠であり、われわれ船員の働く海運業界においても、組合員の要求を勝ち取り、盛り上げていかなければならない。本日は組合員各位の忌憚のない意見をお願いしたい」とあいさつした。

続いて今次春闘の中央交渉の経過報告をするとともに、鹿児島支部の担当各社との労働協約改定交渉の経過を報告し、意見交換を行った。

### 出席者の主な意見・要望

▽船員職業の魅力回復や物価高騰による生活水準の維持に向けて、満額のベースアップ獲得をお願いしたい

▽食料金と正月用潤食費などの改定について

そのほか、諸手当や労働環境改善など、今次春闘に期待する多くの意見が寄せられた。

また、海員春闘に関する意見とは別に▽ペルシャ湾の状況や、船員の安否など一についての意見・質問があり、執行部から船員しんぶんの情報などを用いて説明し、理解を深めた。

最後に、今次春闘も組合員と執行部が一致団結して臨んでいくことを確認した。

「海員だより」